

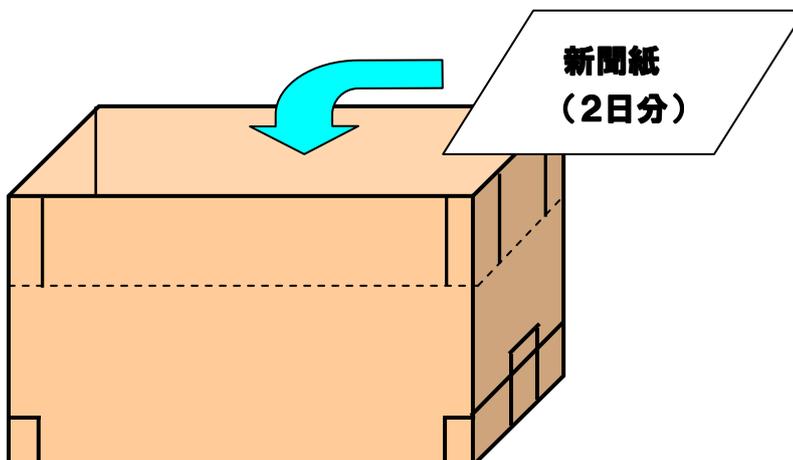
段ボールコンポストの作り方

用意するもの

- **段ボール箱**：ミカン箱のような厚手なもの。(35×40×35位)
- **新聞紙**：内底に敷いて補強します。(段ボールでもOK。)
- **ガムテープ**：つなぎ目や角など、段ボールの補強、目張りに使います。
- **基材**：ピートモス15ℓともみ殻くんたん10ℓ(3:2)のミックスが作りやすいのですが、腐葉土でもできます。
- **虫よけカバーとゴムひも**：不織布(いらなくなった布でも大丈夫です。)をゴムひもで固定します。
- **シャベル**：コンポストを混ぜるのに使います。
- **角材、ラップの芯、すのこなど**：段ボール箱を床から浮かせ、通気性を確保するのに使います。
- **棒状温度計**：コンポストの温度を測り、発酵状態を見ます。
- **その他**：米ぬかなどは発酵促進を助けますので、たまに入れてあげましょう。

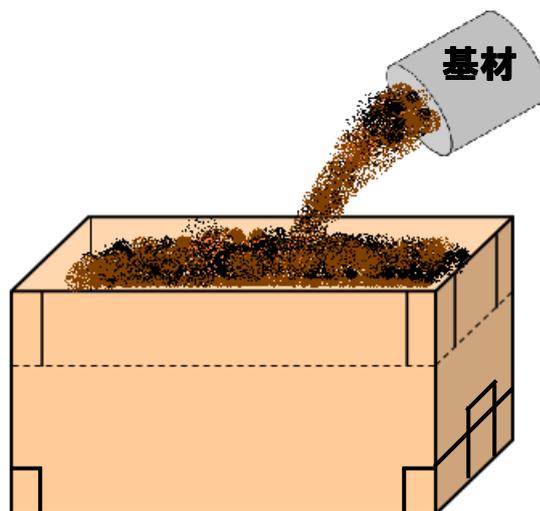
作り方

- 1 箱の隙間や底をガムテープでしっかり目張りします。底には新聞紙や段ボール箱を敷いて補強します。



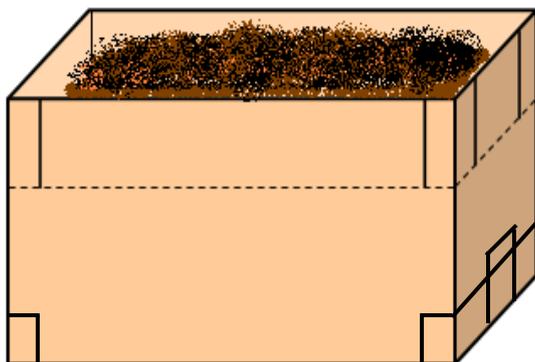
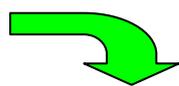
2 基材を箱の半分から7文目くらいまで入れます。

基材を入れ、水を少し加えてかき混ぜます。手で握って固まらない程度が目安です。



3 生ごみを入れたらよく混ぜます。

生ごみ

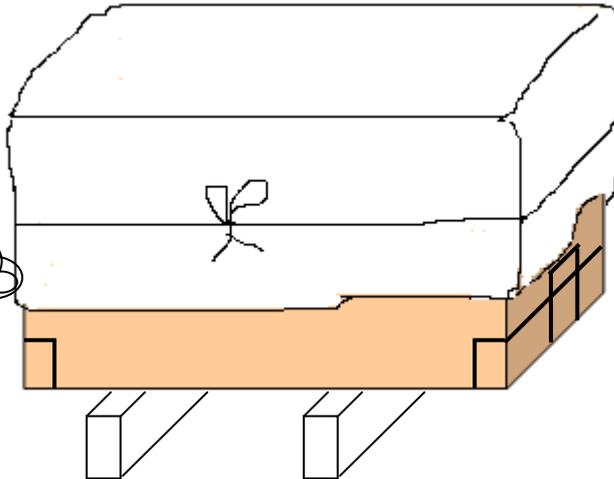


一日500gくらいを目安に投入できます。投入したら、よくかき混ぜて、温度変化を見ましょう。

4 角材などを使って箱を床から浮かせ、雨の当たらない場所に設置します。

虫よけカバーをしておきます。

廃食油や米ぬかなどを入れると、温度があがり、発酵分解が早くなります。



管理のポイント

① 微生物の活動を活発にさせるには、酸素と水が必要です。

基材の水分調整とかくはん作業をしっかりとしましょう。

② 段ボール箱に、虫よけカバーをつけて防虫対策を徹底しましょう。

③ コンポストは通気性を良くするため、角材等で浮かせて設置し、雨があたらないようにしてください。